

VOL. 26 会報 みらいフレス



理事長 濱田 格子

新型コロナウイルス感染症とそれに関わる緊急事態宣言で、市民の生活は一変しました。自粛生活で行き場を失い孤立する人々、経済状況の悪化、児童虐待やDVの増加など、感染症は人々の身体的な健康だけでなく、社会的な健康をも奪っています。とくに子どもやひとり親家庭といった社会的に弱い立場の人々には、深刻な影響があり、支援が必要です。

わたしたちの法人は、子どもたちの健やかな成長には社会的なつながりが欠かせないと考え、顔の見える関係作り、支え合う地域社会作りをめざしてきました。第二波、第三波の感染ピークも予想され、直接的な人の関わりが忌避されるなか、2020年度はどのように活動を進めていけばいいのか、模索しながらのスタートです。

世界的な感染症や不況への不安は、人々を分断と対立に向かわせるのでしょうか。それとも、行き過ぎた効率化を修正する契機となるのでしょうか。

わたしたちひとり一人の力は小さいけれど、この危機が人間性を回復する契機となるよう、力を合わせて進みたいと願います。

Pick Up

ステイホーム応援事業 「おもちゃをプレゼント」

尼崎市在住の子育て家庭限定で希望者を募ったところ、254件もの応募がありました。

そのうち当選した100家庭に、法人スタッフが直接おもちゃをお届けしました。（5月15～22日に配達）

外出自粛生活の、ちょっと心温まる1コマでした。

（詳しくは5ページに）



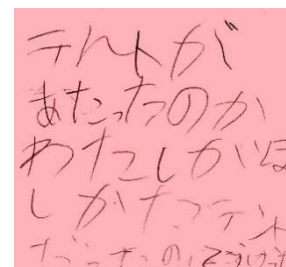
ボールテントの絵



どんなおもちゃかな？



お兄さんありがとう



お礼の手紙

From Now on

各事業の今 これから

新型コロナウイルスの感染が広がる中、3月からすべての事業を中止していましたが、実施方法を見直し、6月から順次再開しています。それぞれの事業の現状をお知らせします。

すこやかプラザ

多目的ホール、一時預かりルーム「とんとん」は6月1日から、広場「パル」は6月4日から再開しました。

安心して利用していただくために・・・

コロナウイルスの感染を防ぐために、当面の広場の利用方法を見直し、右のようになりました。

- ◆来館者全員が入口で検温、消毒、連絡先記入。
- ◆利用人数を制限し、2時間ごとの入れ替え制。
- ◆2時間に1回、換気と清掃、消毒作業を行う。



自動ドア入口の様子



利用方法が変わりましたが、利用者さんもスタッフも少しずつ慣れてきました。再開を待ち望まれていた方だけでなく、初めて利用の方も来られますが、人数制限があるので、ゆったり遊べます。

7月31日までは、すべての事業(講座等)を中止しています。サポーター活動は今年度中、利用者と直接接する活動は行わず、定例会と製作などの作業のみにになります。

新しい利用法も・・・

緊急事態宣言を受けて使用を中止していた多目的ホールも、6月1日から利用できるようになりました。

利用の際は、定員を減らし、換気のために常時入口扉を開けて利用していただきます。

先日、音楽家と楽器店主催のコンサートが実験的に開催されました。演奏者の前には、透明のシートを設置し、観客席も広く間隔を空けています。コンサートの様子はネット配信されたようです。

すこやかプラザの多目的ホールは、天井が高く、音の響きがとても良いそうです。グランドピアノもありますので、これからは今回のような利用が増えるかもしれません。



フルートコンサート会場の様子

つどいの広場

「こんぺいとう」、「びすけっと」、「どろっぷす」の3広場は、3月4日から閉鎖していましたが、6月3日に再開しました。

閉鎖期間中は、スタッフの研修を行ったり、壁面飾りや季節のおりがみ製作などに各自が取り組みました。

再開後は、3広場共通で右記の通りの利用方法になりました。

新しい日常を取り入れながら、これまでと変わらぬ支援を行います。

- ◆入室時の検温・手指消毒、マスク着用の徹底。
- ◆午前と午後で入れ替え制。各5組まで。
- ◆ランチタイムなし。
- ◆7月末までのミニ講座やイベントは中止。

・ 利用者の声 ・

・ スタッフの声 ・



こんぺいとうの入室時検温の様子

自粛中は散歩しか行けなかった
ので、再開されて嬉しい！

家族以外の人と話が
できる事が楽しい。

人数制限があるので、
安心して遊べます。

おもちゃが少なくても、
上手に遊ばれています。

「来てよかった」「ありがとう」
の声が増えました。



にぎやかな親子の笑い声が少しずつ戻ってきました。あらためて、
「いつでも気軽に行ける場所」の存在の大きさを実感しました。

七松子ども食事会

場所を貸スペース「あまびっと」に変更して、月2回手作り弁当の食事会を実施。

これまで使わせてもらっていたグループハウスは、高齢者施設のため利用できなくなり、以前夏休みの食事会で使用したことのある「あまびっと」を借りることになりました。

現地での調理はせずに、手作りのお弁当を皆で一緒に食べます。これまで通り、子どもたちが元気に通っています。

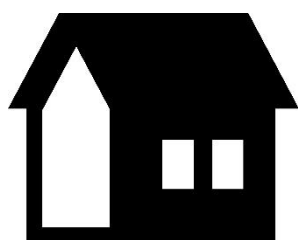
帰りには、フードバンクからいただいた食品をお土産として渡します。食を通して、子どもたちとその家族を支援しています。



昭和の時代を思わせるレトロな場所



小学生の頃から通っていた子がこの春、高校生になりました。アルバイトも始め、新しい生活をスタートさせています。今は、小中学生の「お姉さん」的な存在になり、面倒をみてくれます。



今 私たちにできること ～その1～

社会全体が「自粛」するこんな時こそ、立ち止まらずに社会に向けて発信しようと、3つの新規事業に取り組みました。

休校で居場所のない子どもたちに

〈3月に実施済〉

「臨時休校中の子どもと家族を支えよう事業」

3月上旬、新型コロナウイルスの感染リスクを抑えるために、全国の学校が一斉に休校になりました。

そんな中「給食がない、困った!」「家ではゲームばかり」「少し子どもと離れたい」などの保護者の声を聞き、緊急対応子どもカレッジ「子どもの部屋」事業を急遽企画。期間は3月9日から28日まで16回、すこやかプラザの多目的ホールに家庭外の子どもの居場所を確保しました。

Facebookでの呼びかけに応じて集まったボランティアさんは、広々としたスペースで子どもたちと昼食を食べ、学習を見守ったり、ボードゲームをしたり、話し相手になったり…。

ケアの必要な家庭にとって、臨時休校措置は大きな負担です。緊急時こそ、支え合いがいつそう大切だということを改めて感じました。

(この事業は、赤い羽根福祉基金の緊急支援助成を受けました。)



勉強は終わったのかな？



大人と子どもがゲームで真剣勝負。その後ろで応援するのは誰？



期間中2回、歩いて市南部の元浜緑地まで行きました。やっぱり外で遊ぶと気持ちいいね。

子どもたちと一緒に
片道50分もテクテク
と歩きました。



外出できない子どもたちに

「ステイホーム応援事業」

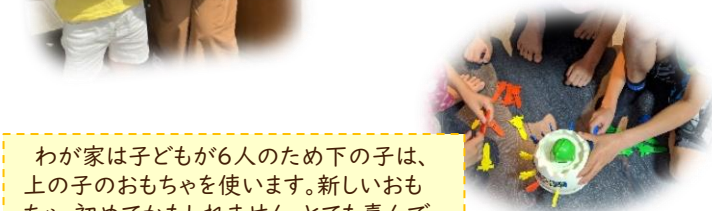
休園・休校が長引き、外出もままならない子どもたち(100人)に、家庭で楽しめる年齢別のおもちゃセットをプレゼントしました。

短期間の募集に関わらず、254件の応募があり、当選者には法人スタッフが直接お届けしたことも大好評でした。

スタッフも、プレゼントを受け取って大喜びする親子の姿に、季節はずれのサンタさんの気分を味わいました。



お礼 Mail

A black and white line drawing of a girl and a boy standing below a large, stylized cloud. The girl on the left has short dark hair and is wearing a white shirt with a dark collar. The boy on the right has short dark hair and is wearing a striped shirt. Both are wearing face masks and have their arms slightly outstretched. The cloud above them contains the text 'お礼 Mail' in a simple, rounded font.

わが家は子どもが6人のため下の子は、上の子のおもちゃを使います。新しいおもちゃ、初めてかもしれません。とても喜んで、みんなで仲良く遊んでいます。(Nさん)

心温まる素敵な企画をありがとうございます。お家まで届けて頂き感謝しています。大事に使わせて頂きます。子どもたちはさっそく「開けていい?」と胸をわくわくさせて遊んでいます。遊びながら「嬉しいね、届けてくれたね」と子どもたちの心からも温かい気持ち伝わってきました。本当にありがとうございます。(Hさん)

急な入院が決まった家庭に

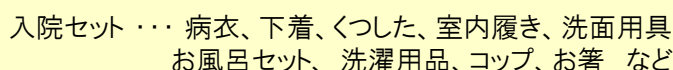
〈態勢を整えて出動待機中〉

「コロナ入院緊急サポート事業」

急病の場合、十分な準備ができないまま入院になることがあります。

ましてや新型コロナウイルスの陽性となった場合は、家族の面会もできません。そこで、入院準備品の無償提供と買い物代行サービスを行います。（尼崎市災害対策課を通じて）

「身近な頼れる存在」が一人でも多いと心強いものです。



今年度総会が無事終了

去る5月30日(土)、2020年度の通常総会を例年どおりすこやかプラザにおいて開催しました。

ほとんどの会員さんには委任状の提出をいただき、最低限の出席者で済ませました。

特に、今年度は役員改選時(2020・2021年度)に当たり、7人の理事と1人の監事をすべて再任するとともに、濱田理事を理事長に、伊藤理事を副理事長に互選しました。

正会員55名、役員8名、事務局6名の体制で引き続き頑張ってます。

また、すこやかプラザを中心に、引き続き多くのサポーターさん、ボランティアさん達の応援をいただくなど、物心両面のご支援、ご協力を頂くこととなります。何卒、よろしくお願い致します。

正会員

秋武真弓	高野はつみ
浅野可菜	武田秀美
伊口始子	武村友子
池内由紀	田代育代
石川実	告船和美
伊藤篤	利田亜寿香
稲葉敬子	永田倫子
岩佐恵子	中谷まゆみ
岩塚二郎	成澤純子
岩塚真由美	西多美保
上村直美	西井繁子
岡田裕子	西口真美
音川邦子	二宮麻子
鹿兒島智子	濱田和男
鹿島渚	濱田格子
鹿島ひろみ	濱野倫子
柏木宏斗	東浦弘子
門松悦子	東野奈央子
川地聡子	平尾輝子
河部久愛	福田恭子
河本里佳子	松田厚子
北野陽子	間宮未奈子
藏原亜紀	村瀬美弥子
近藤由香	森川真由子
澁谷ひろ美	山本傳美子
鈴木久美子	山本秀樹
高木ゆう子	善見壽男
高田忍	

55名 50音順

役員

【理事】

濱田 格子 (理事長)
伊藤 篤 (副理事長)
鹿島 ひろみ
近藤 由香
鈴木 久美子
高田 忍
山本 秀樹

【監事】

千木良 昌彦

事務局

高田 忍(事務局長)
濱田 格子 鹿島 ひろみ
柏木 宏斗 鈴木 久美子
二宮 麻子

賛助会員46名

(法人から皆さんへのメッセージ)

おかあさんの笑顔は子どもに安らぎを与えます

でも親だって、ときには不安になったり

自信をもてないこともありますよね

そんな時、近くに誰かがいてくれたら・・・

「ひとりじゃないよ！ 大丈夫！」

親と子の笑顔があふれるまちでありたい

そんな願いが集まって

「子どものみらい尼崎」ができました

こどもたちの明るい未来のために、

今、私たちができることを

一緒に考えませんか？

新メンバー紹介



武村 友子さん

つどいの広場「こんぺいとう」「びすけっと」「どろっぶす」のスタッフとなりました。慣れない事もありますが先輩方にいろいろ教えていただいています。どうぞよろしくお願いいたします。

当法人の活動の主旨に賛同し、支援する会員を募集します

- 正会員 (総会での議決権を有する会員) 1,000円/年
- 賛助会員 (資金面で活動を支えて下さる会員)
(個人)1口 1,000円/年 ~ (団体)1口 5,000円/年 ~
- 寄附金 1口 1,000円 ~

振込先

ゆうちょ銀行 記号14370 番号21213701
特定非営利活動法人子どものみらい尼崎

三菱UFJ銀行 塚口支店 4856321
特定非営利活動法人子どものみらい尼崎
理事長 濱田格子

編集後記

- ◆2020年は忘れられない年になりそうです(S) ◆引越しました(K)
- ◆雨音、蛙やセミの鳴き声が穏やかに聞ける日常が待ち遠しいなあ(K)
- ◆年頭の“多難な年の予感、胸騒ぎ”が的中。これから益々混沌?(T)
- ◆早くライブに行きたい!!(N) ◆遅ればせながら、これから断捨離します(H)

みらいプレス VOL.26

発行者：認定NPO法人子どものみらい尼崎 理事長 濱田格子

〒661-0033 尼崎市南武庫之荘1-18-11-102

TEL 06-6431-2548 E-mail amakmirai@gmail.com

HP <http://www.r.goope.jp/amakmirai>

編集者：鈴木 柏木 鹿島 高田 二宮 濱田

